

湘南鎌倉生涯現役の会創立 25 周年を迎えて

「生涯現役」という言葉は、多くの人は「一生涯(収入がある)仕事をする」というニュアンスで受け止めるようですが、湘南鎌倉生涯現役の会（以下、特記するもののほか、「湘現会」という。）という「生涯現役」とは、人生最後まで「健康で元気で、できれば社会のため何か役立つこともし、生き甲斐のある生活を送る」ということにあると考えます。ともすれば、周囲から孤立し社会との接点を失いがちなシニア世代にあって「生涯現役」を貫くためには、シニア同士がお互いに助け合って、この目的を実現しようというのが本会の目的です。

この目的のため、湘現会は、自己研鑽の催しとして講演・研修の会、趣味の会、健康のための会、勉強会、社会貢献の会、見学の会等と明るく楽しく過ごすための会員交流の会など様々な活動を続けて 25 年になりました。

本会は年齢・性別・職業・学歴・出身地等を問わず、だれでも自由に入会できます。全く自由な任意団体ですので、企業の OB 会や学校の同窓会とは異なり、会員の経歴等も多様であるため、その想いが多岐にわたる難しさもあります。また、企業の OB 会等では、要件を満たした人が定期的に新会員として加入してくるということも期待できますが、本会のようにだれでも入会できるということは、一方では、入会してもらっただけの魅力を維持し続けることが必要で、これは不可欠であるともいえます。会員がいくら健康であっても、自然の摂理による高齢化と会員数減少は避けられません。湘現会創立と同時期に類似した目的と活動方針を持った多くの会ができましたが、かなりの会がこうした難しい状況を打破することができず、自然消滅に至っています。そういう中で、湘現会も、やはり会員の高齢化という難しい問題に直面していますが、分科会活動行事の充実・対外的積極 PR などの方策により、現時点では会員数の減少に歯止めをかけて、会創立 25 周年を迎えることができたことは、まことに喜ばしいことでもあります。

このたび、本誌を発刊した目的は、その一つとして、伝統として引継ぐべきものと時代に合せて変化させて行くべきものがあることを認識しながら今後の運営を行うため、これまでの会の歴史の記憶が散逸しないうちに記録をまとめておくこと、二つ目は、本会では、現在ホームページを通じて可能な範囲で、会の全般的動きや各分科会の概要、実施記録などを知ることができるようにしていますが、インターネットを利用しない会員もいることなどから、すべての会員に、会の全体像を本誌により知ってもらうことができればと考えたこと、三つ目は、本会の外部の方々にも、この本誌を通じて会の概要や活動を紹介し、これをご理解いただいた上で、会の目的達成を目指して、ご一緒に活動していただけないかと考えたことです。

今後、会の更なる発展を目指すためには、会員が“入会して良かった！”と思う企画の立案・実施に一層力を注ぐこと、社会のために寄与する方策を充実させていくこと、また、関係団体等との交流・連携を推進することなどが重要であり、世話人会としては、これらのことに努める所存です。

会員の皆様には、以上のことをご理解いただき、会の活動のための企画の積極的な提案を行うとともに、できれば世話人会にも加わっていただき、より充実して生きがいのある人生に向かって共に歩み、湘現会の新しいページを創って行こうではありませんか。

湘南鎌倉生涯現役の会世話人会